

令和4年度4月定例記者会見 次第

日時：4月25日（月）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長

関係部課（総務部）危機管理課

（経済振興部）ブランド政策課

学研都市づくり課

1 市長あいさつ

2 案件

（1）観光地域づくり法人「登録DMO」に正式登録

（ブランド政策課） ●資料1

（2）糸島観光サイト「つなぐいとしま」リニューアルオープン

（ブランド政策課） ●資料2

（3）住民公開型GIS「糸島市Webマップ」運用開始

（危機管理課） ●資料3

（4）糸島漁業協同組合×懶ヴェントゥーノ ブルーカーボン協定プロジェクト第1弾

糸島産めかぶを使用した化粧品（パック）を開発！

（学研都市づくり課） ●資料4

3 懇談・その他

➤ 5月のイベント ●資料5

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：5月25日（水）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

観光地域づくり法人「登録 DMO」になりました

一般社団法人 糸島市観光協会は、観光庁長官から平成31年3月29日付で日本版 DMO 候補法人としての登録を受けておりましたが、この度、令和4年3月28日付で、観光地域づくり法人「登録 DMO」（登録区分：地域 DMO）として登録されました。



令和4年4月18日九州運輸局で行われた

日本版 DMO 登録証授与式で登録証を受け取る田中会長（右）

1. DMO とは

- ◎ 「Destination Management / Marketing Organization」の略で、観光庁は「観光地域づくり法人」と称している。
- ◎ 地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定する法人である。
- ◎ 観光地域づくりの主体となる法人として、観光庁が形成・確立を支援しており、要件を満たした法人を「登録DMO」として登録・公表している。

観光地域づくり法人(DMO)の形成・確立

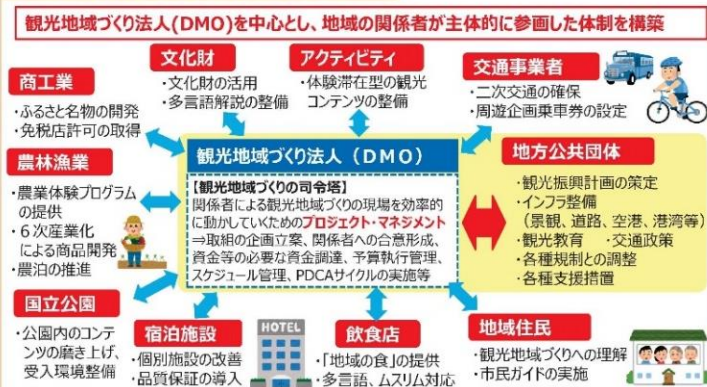


観光地域づくり法人 (DMO)

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人

DMO : Destination Management / Marketing Organization

地域の関係者を巻き込んだ体制の構築



ターゲティング等の戦略策定
観光コンテンツの造成
受入環境の整備

地方誘客・旅行消費拡大

・地域の「稼ぐ力」を引き出す
・地域への誇りと愛着を醸成する
～未来へつなぐ持続可能な観光都市“糸島”～

【参考】観光庁DMO登録数（R4.3.28 現在）

DMO種別		広域連携DMO (複数の都道府県)	地域連携DMO (複数の市町村)	地域DMO (市町村単独)
登録DMO	241 団体	10 団体 (県内 1 団体)	101 団体 (県内 1 団体)	130 団体 (県内 4 団体)
候補DMO	70 団体		20 団体 (県内 1 団体)	50 団体 (県内 6 団体)

2. 「DMO登録法人」として登録されるための要件5項目

- ① 「DMO」を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- ② データの継続的な収集、戦略の策定、KPI の設定・PDCA サイクルの確立
- ③ 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合に関する調整・仕組みづくり、プロモーションの実施
- ④ 法人格の取得、責任者の明確化、データ収集・分析などの専門人材の確保
- ⑤ 安定的な運営資金の確保

3. 観光地域づくり法人「登録 DMO」になるメリット

- ◎観光庁を始めとした関係省庁による財政的バックアップや総合的なアドバイス等を受けることができる。
※登録DMOのみ申請ができる事業「観光地域づくり法人の体制強化事業」を申請中
- ◎登録DMOとして認められた組織体制を生かして、明確なコンセプト、マーケティングのもと、戦略的な観光のまちづくりを行うことができる。

4. 市の役割

- ◎第2次糸島市観光振興基本計画に掲げる将来像「未来へつなぐ 持続可能な観光都市“糸島”」の達成に向けて、戦略策定や観光商品開発などDMO機能の支援
- ◎「おもてなし環境の充実」のため、観光施設の環境整備（改修や更新）を実施

【問い合わせ先】

経済振興部 ブランド政策課 観光振興係
担当：長谷川

TEL：直通：092-332-2080 内線：1281

メール：brand@city.itoshima.lg.jp

DMOとしての今後の取り組みについて

一般社団法人 糸島市観光協会

1. 法人概要

- (1)名称 一般社団法人 糸島市観光協会
- (2)住所 福岡県糸島市前原中央1丁目1-18
- (3)会長 田中 信彦
- (4)経緯 平成27年4月1日 任意団体から一般社団法人化
平成31年3月29日 日本版DMO候補法人として登録
令和4年3月28日 観光地域づくり法人「登録DMO」として登録
- (5)会員数 346社・団体(令和4年3月末現在)

2. 糸島市DMOのコンセプト【別紙1参照】

◎糸島の観光のまちづくりのコンセプト

- ・豊かな自然環境と地域資源を維持し、未来へつなぐ持続可能な観光のまち『つなぐ糸島』

◎コンセプトの考え

- ・糸島の強みである『食』、『糸島人の寛容さ』と来訪者をつなぎ心に残るおもてなしを行なうことで地域価値を高め、好循環を作っていきます。
- ・また、先人たちが守ってきた『壮大な自然』、『文化』など来訪者や市民にとって心地よい環境、コミュニティを守り、発展させ未来へつないでいきます。
- ・糸島人と来訪者がつながることで、観光交流人口などが増え、市内に住む人々の元気や生活・文化の意識の向上をもたらし、その豊かさが糸島人であることの誇りや愛着が沸くことにつながり、ますます観光交流の輪が広がっていきます。その先には移住、定住に発展する可能性もあります。

◎目指す将来像（第2次糸島市観光振興基本計）

- 「未来へつなぐ 持続可能な観光都市“糸島”」

3. 今後の展望

◎糸島市観光協会は、登録DMOとして、マーケティング（売れる仕組み／糸島の地域特性とマーケットニーズを把握）をもとに、より売れる観光商品開発、販売の支援を行ない、市内観光事業者自らが、糸島らしい観光事業を展開できるように調整役、舵取り役を担う。

◎具体的な取組として予定しているもの

- ・動態調査（アンケートやデジタル統計を活用したマーケティング調査）
- ・市内事業者向け観光商品造成セミナー・戦略会議（中長期的な戦略策定）などの開催
- ・糸島ならではの観光商品（着地型旅行商品）の造成、販売
- ・レンタサイクルの拡充（自転車を活用した観光のまちづくり事業）
- ・プロモーション（HP、SNSでの情報発信拡充）

※観光庁の支援事業なども積極的に活用（申請）

4. 参考（候補法人段階における主な取組み実績）

- ◎戦略的な観光のまちづくりを行うために『観光動向調査（アンケート）』を実施
- ◎市内観光事業者へ送客・誘客を行うために、観光協会が『地域限定旅行業』を取得（R3.11）
- ◎2次交通の課題解消のために『観光周遊バスの実証運行』、『レンタサイクル事業』を実施
- ◎滞在時間の延長や消費活動へ繋げていくために、地域資源の活用と宿泊を絡めた付加価値のある『体験型観光のツアー造成』のための実証事業を実施（ヘルスツーリズム、カキバスツアー等）
- ◎観光情報の一元化し、観光客の誘客、満足度向上を図るために『観光協会のHP全面リニューアル』に向けた準備（令和4年4月1日公開）



【問い合わせ先】

一般社団法人 糸島市観光協会
事務局長 高田
TEL: 322-2098

法人名: 一般社団法人糸島市観光協会
登録区分名: 地域DMO

豊かな自然環境と地域資源を維持し、未来へつなぐ持続可能な観光のまち『つなぐ糸島』 記入日: 令和4年1月11日

【区域】 福岡県糸島市
【設立日】 平成27年(2015)年4月1日
【登録日】 平成31年3月29日(候補法人登録)
【代表者】 田中信彦
【マーケティング責任者(CMO)】 高田秀峰
【財務責任者(CFO)】 寺崎裕季子
【職員数】 5人
(常勤3人(正職員2人、出向1人)、パート従業員2人)
【連携する主な事業者】
JA糸島農業協同組合、JF糸島漁業協同組合、糸島市商工会、糸島旅館組合、九州大学、中村学園大学、ボランティアガイド団体、福岡銀行、JR九州、昭和自動車、タクシー事業者、貸切バス事業者、レンタカー事業者、福岡県観光連盟、九州観光推進機構、など



マーケティング・マネジメントする区域

福岡県糸島市全域
【主な観光資源】

- 二見ヶ浦
- 芥屋大門
- 雷山観音
- 白糸の滝
- 姉子の浜
- 牡蠣小屋
- 農産物直売所
- 海産物直売所



合意形成の仕組み

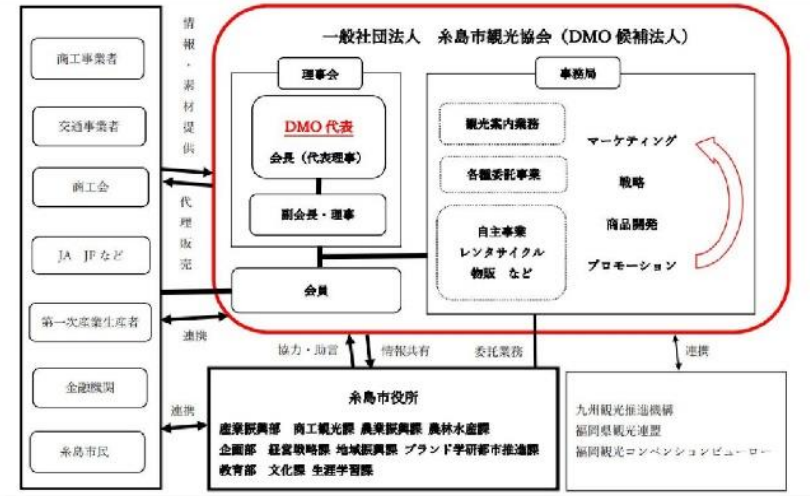
『該当する登録要件』①及び②
地域の観光関連事業者や多様な企業や団体を集めた「(一社)糸島市観光協会」地域の集客交流事業に携わる事業者を集めた「糸島市観光協会理事会」を定期的に開催し、糸島の観光のまちづくりについて合意形成を図る。理事会は月に1回開催。また会員を集めた総会は年に1回実施。

戦略

【主なターゲット】
福岡市及び福岡都市圏からの個人及び団体
東名阪大都市圏からの若年層個人客

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
“糸島ならではの”地域資源を活用した、ツーリズム商品開発及びインターネット、SNSによる情報発信の強化。
JR九州や昭和自動車、レンタカー事業者と連携した企画商品の造成販売等、商品販売網の確立。(マイカー所有者ではない層の取り込み)
2次交通の拡充及び改善。(サイクリングロードの整備等、市内のバス運行計画の見直し、HOP ON BUS)。市内の点在する観光スポットを小型バスによって気軽にアクセスできるもの。

実施体制



法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】
・観光プロモーション、観光情報の発信などについては、今後、行政との連携を図り、情報発信、プロモーションの一元化を推進する。
【観光資源の磨き上げ】
糸島の強みである「食」「自然景観」を軸に、観光庁支援事業を活用し、糸島の地域資源を用いた付加価値のツアー造成を行い、観光資源の磨き上げを行った。
【受入環境の整備】
おもてなし環境の充実を図るため、市へ糸島観光の課題などの共有を図り、ハードの整備としては、観光地のトイレ整備、遊歩道の整備、サイン整備、自転車空間整備事業(矢羽根事業)、キャッシュレス決済の導入促進事業を市で実施された。

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

観光協会理事会は、観光関連事業者(多種多様な業種の代表者)の集まりであり、部会(イベント部会、情報発部会)がある。会員向けに年に1回総会を実施、また機関紙及びメール等によって情報の共有を図る。

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 レンタサイクル事業 約4百万円(R2年度)
物品販売、荷物預かり事業 約百万円(R2年度)
【総支出】 64百万円(一般管理費37百万円、事業費27百万円)
※3年度3月期決算
【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】
着地型旅行商品造成販売 約百万円予定

糸島市観光協会 ホームページ リニューアルオープン
観光客のみなさまが見たい 旬な糸島情報を発信！

糸島観光サイト～つなぐいとしま～

観光客の多様なニーズに応え、糸島市の観光を盛り上げていくために、観光情報を一元化した(市の観光情報も含む)糸島市観光協会の公式サイト『糸島観光サイト～つなぐいとしま』が、令和4年4月1日にリニューアルオープンしました。

▼リニューアルに至った経緯

- ◎DMO 事業を推進していくためにプロモーションを強化し、来訪者にとって知りたい情報を掲載するとともに、市内への回遊性を高め、滞在時間の延伸を目指しリニューアルを行いました。
- ◎市の観光情報との一元化を図り、今後は市と連携を図り糸島観光サイトより旬な糸島情報を発信していきます。

▼糸島観光サイト～つなぐいとしま～の紹介

- ・ホームページ名 糸島観光サイト～つなぐいとしま～
- ・URL <https://kanko-itoshima.jp/>
- ・運営 一般社団法人 糸島市観光協会
- ・連携 糸島市



- ◎「今週の糸島」と題して、糸島で開催されるイベント情報を写真とともに紹介
- ◎地図からの検索「地図から探す」に加え、6つのカテゴリ別の入口を設定し、見どころを紹介
『イベント』・『観る』・『食べる』・『買う』・『体験する』・『泊まる』
各カテゴリから気になる記事をクリックすると、詳細な情報を紹介
- ◎「糸島までの交通手段」「糸島での交通手段」をエリアごとに紹介
エリアごとに自家用車、バス、電車、レンタサイクルによる所要時間などを掲載

▼今後の展開

- ◎令和4年度は、観光協会発の国内ツアー等の販売も考えており、サイトからのツアーの予約、決済などができる機能も追加する予定です。
- ◎市内事業者の旬な情報を掲載できるように、掲載を希望する事業者との情報の受渡し方法の構築も検討しています。

サイト掲載情報(例)



2022年4月

日	月	火	水	木	金	土
27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日
		伊術郷土美術館「みんなでアート」				
3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
第23回3・11大震災				みんなのコンサート	糸島浮世つつじ祭り	糸島浮世つつじ祭り
						白糸道楽ドライブス
10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
糸島浮世つつじ祭り						
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
糸島浮世つつじ祭り						他のキャンピング場
24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
糸島浮世つつじ祭り						
ヨリミ子らいびな音楽	アーティステーション糸島【ののわし編】					
					白糸やまめ釣り祭り	
					GWファームパークちびっ子収穫祭	
					糸島ハンドメイドカーニバル2022	
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
アーティステーション			はつしお乾本マルシェ			
白糸やまめ釣り祭り						
坂井二見ヶ浦 天婦羅						

EVENT

今週の糸島

04/24 04/25 04/26 04/27 04/28 04/29 04/30

- 04/24 糸島浮世つつじ祭り
二丈地域の山奥にあるツツジ園。約5,000株のツツジが咲き誇り、春と夏...
- 04/25 アーティステーション糸島【ののわし編】
夜間は祭り、昼間はアート。2022年度「旅のついでに糸島」...
- 04/26 GWファームパークちびっ子収穫祭
GWはファームパーク伊勢原の収穫体験から糸島まで楽しむ1日だけのイベント...
- 04/29 糸島ハンドメイドカーニバル2022
食料、木工、皮革作製をはじめ、織物、染物、アクセサリーに糸島まで、ここ...
- 04/29 白糸やまめ釣り祭り
「やまめ釣り」をテーマにした、糸島ならではのイベント。糸島観光局が主催...
- 04/29 登山について
糸島には、美しい自然と歴史が息づく山々があります。登山は、糸島を深く知る...

糸島を知る

- 糸島ってどんなところ？
- 糸島までの交通手段
- 糸島での交通手段
- 糸島の画像
画像の利用について

住民公開型GIS『糸島市Webマップ』運用開始

糸島市では、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などをウェブ上で閲覧できる「糸島市災害ハザードマップ（web版）」を公開しています。

今回、これまでのシステムの見直しを行い、ハザードマップに地震の揺れやすさが分かるマップを新たに追加し、都市計画、道路、公共施設及び教育情報などのコンテンツをまとめたポータルサイト『糸島市Webマップ』に更新しました。また、ポータルサイト内にある「Mappin Drop（マッピング ドロップ）」を使って、避難経路、観光マップなどのオリジナルの地図の作成ができ、これまで以上に、市民の方に活用しやすいシステムとなっています。

なお、福岡都市圏17市町のうち、住民公開型GISシステムを用い、レイヤー切り替えができるハザードマップに加え、都市計画情報や道路情報など、総合的な地図情報のポータルサイトとして公開しているのは、4市町（糸島市、福岡市、大野城市、篠栗町）のみとなります。

【掲載マップ一覧】

- ハザードマップ／①土砂災害、②洪水、③高潮、④津波、⑤ため池、⑥地震ゆれやすさ
- その他／①都市計画情報、②道路情報、③公共施設、④教育（小中学校）、⑤防犯灯

ポイント1) ポータルサイトにすることで検索が簡単に

- ・これまでは、ハザードマップや都市計画情報は、市のホームページ内に分散していましたが、1ヶ所にまとめることで検索が簡単になります。
- ・マップの切り替えを行うことができるため、ハザードマップから都市計画情報などページを移動せずに検索することができます。

ポイント2) PDF版からGIS（地図情報システム）へ

- ・これまでは、都市計画図などの情報はありましたが、PDFで公開していたため、拡大しても詳細な情報が分かりにくい状態でした。GIS（地図情報システム）に変更したことで、詳細な情報を得ることができます。

ポイント3) オリジナルの避難ルートが作成できる

- ・ハザードマップを見ながら、自宅から避難所までの安全な避難ルートを独自で作ることなどができるため、各家庭での防災意識の向上が期待されます。

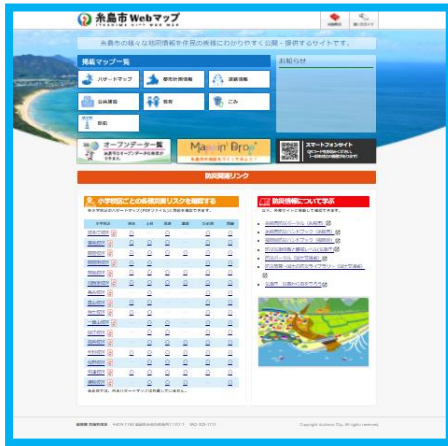
ポイント4) 観光マップなどを自分で作れる

- ・サイト内にある「Mappin Drop（マッピング ドロップ）」を使用して、オリジナルの観光マップを作ることができます。

スマートフォン用
QRコード



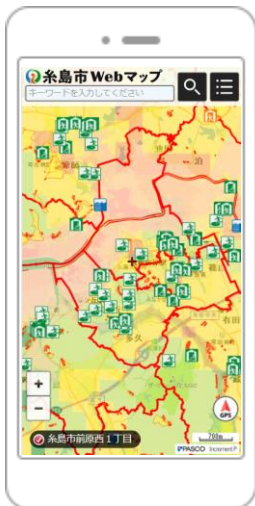
URL : <https://www2.wagmap.jp/itoshima/>



<トップ画面>



<土砂災害ハザードマップ画面>



<スマートフォン画面>

掲載マップ詳細

【ハザードマップ】

- ・土砂災害、洪水、高潮、津波、ため池に加え、地震の揺れやすさ情報を追加。

【都市計画情報】

- ・用途地域や地区計画区域などのエリアや詳細情報が掲載。

【道路情報】

- ・市道の位置や詳細情報が掲載。

【公共施設】

- ・行政施設、スポーツ施設、コミュニティ施設、公園などの位置や詳細情報が掲載。

【教育（小中学校）】

- ・小中学校などの学校教育施設の位置や小学校区、詳細情報が掲載。

【防犯】

- ・防犯灯の位置や詳細情報が掲載。

【問い合わせ先】

糸島市 総務部危機管理課

防災企画係 担当：熊本、小金丸

電話番号：332-2110

メール：kikikanri@city.itoshima.lg.jp

糸島漁業協同組合×(株)ヴェントゥーノ ブルーカーボン協定プロジェクト 糸島産メカブを使用した新スキンケアブランド&第1弾商品が誕生！

福岡市中央区に本社を構え、海藻のぬめりに含まれる成分「フコイダン」などを成分とした化粧品や健康食品を製造・販売している株式会社ヴェントゥーノが、この度新スキンケアブランド「人魚の伊都姫」を立ち上げました。また、ブランド第1弾として、糸島産メカブを使用したジェル・クリームパックが完成しました。



メカブ含有率の高いジェルパック（黒）と、ノビの良いクリームパック（白）

1. プロジェクトの経緯

糸島市の豊かな恵みから生まれた素材を積極的に活用したいという考えから、令和3年6月、当企業は糸島漁業協同組合と「ブルーカーボン推進における地域貢献協定」を締結。協定には、糸島産メカブの安定供給や新商品の開発等を進め、市内漁業者の所得向上等にも寄与する活動を進めることが記載されています。



協定締結時の記者会見の様子

2. 成分分析を九州大学の研究者が担う

当商品に使用されている糸島産メカブは、九州大学大学院食品免疫機能分析学寄附講座において、フコイタンを抽出し保湿試験を実施。その結果、保湿成分の一種である「ヒアルロン酸」に比べ、保湿力が高いことが確認されています。



研究を実施した九州大学大学院
農学研究院 宮崎義之准教授

3. 新たな水産資源創出・漁業者の所得向上への第一歩として

今後の糸島の漁業は、限りある資源を有効に利用し、その価値を最大限に高めていく必要があります。今回着目した「メカブ」の“食用”以外の活用は、水産資源に新たな価値の創出という意味合いでも大変興味深い取組となります。

詳しくは、別紙資料をご参考ください。

【問い合わせ先】

糸島市 経済振興部 学研都市づくり課
担当：姫野 中村 電話番号：332-2079
メール：gakkentoshi@city.itoshima.lg.jp

糸島産メカブを使用した新スキンケアブランド 「人魚の伊都姫」が誕生！

～シリーズ第1弾はジェルパックとクリームパック～

海藻成分「フコイダン」を使用した健康食品・化粧品を販売する株式会社ヴェントゥーノ（福岡市中央区、代表取締役社長：中野勇人）は4月25日、糸島産メカブフコイダン(※)を使用した新たなスキンケアブランド「人魚の伊都姫」を立ちあげ、このたび第1弾商品としてジェルパックとクリームパックを発売いたします。糸島市の福吉エリアで採れたメカブから抽出したメカブフコイダン(※)を贅沢に配合した化粧品です。

※ワカメエキス（保湿成分）

【開発背景】

弊社商品で使用するフコイダンはオキナワモズクやメカブから抽出しています。地元糸島の海で採れたメカブの未使用部分を有効活用できないかと考え、化粧品として製品化が実現しました。

2021年6月には、フコイダンの安定的な確保と糸島エリアの地域貢献を目的に、糸島市の協力のもと糸島漁業協同組合（代表理事組合長：仲西利弘）と「ブルーカーボンの推進における地域貢献協定」を締結。5年計画で糸島漁協から継続的にメカブを購入し、ワカメ養殖の漁師の方の収入安定に寄与するとともに、ワカメの生産効率の向上を図るなど糸島の海、産業に貢献していきます。そしてワカメ生産の活性化で、ブルーカーボン推進に繋げ、CO₂の削減や磯焼けなどの環境問題の解決を目指し、SDGsにも取り組んでいきます。

【ブランドコンセプト】

“人魚姫”をモチーフに海を守る象徴と美しさ、優しさをイメージし、肌を優しく守り、糸島の豊かな海も守っていききたいという想いを込めて名付けました。

【商品概要】

海藻ジェルパックモイスト

■独自処方

糸島産メカブから抽出したメカブフコイダン(※)を配合した高濃度・高保湿のスペシャル海藻パック

商品価格：5,500円（税込） 内容量：50g



海藻クリームパック

■独自処方

糸島産メカブから抽出したメカブフコイダン(※)を使用した保湿海藻パック

商品価格：3,300円（税込） 内容量：50g



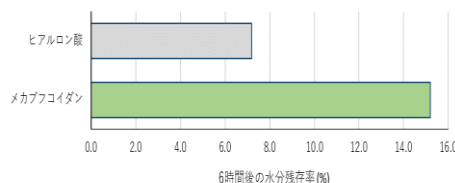
※ワカメエキス（保湿成分）

公式オンラインショップ、ふるさと納税商品（海藻ジェルパックのみ）として販売します。ふるさと納税商品で糸島の海産物を利用した化粧品は初めてです。



九州大学 宮崎義之准教授コメント

九州大学大学院農学研究院 食品免疫機能分析学寄附講座にて糸島産メカブから採れたメカブフコイダンの保湿試験を行いました。6時間後の保湿力（水分残存率）がヒアルロン酸に比べて2倍以上になったことが確認できました。



【ヴェントゥーノからのコメント】

今後も糸島メカブ事業をきっかけに、糸島市、糸島漁協とともに地域を盛り上げ、さらなる活性化に貢献できたらと考えています。また弊社と共同研究している九州大学とも継続的に連携を図り、これからもお客様に安心・安全な商品を届けてまいります。